

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	771.00	2020/5/11
High	802.30	2020/5/15
Low	752.75	2020/5/11
Close	800.50	2020/5/15

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	2645.00	2020/5/11
High	2763.00	2020/5/15
Low	2590.00	2020/5/13
Close	2754.00	2020/5/15

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	1885.00	2020/5/11
High	1941.77	2020/5/11
Low	1775.00	2020/5/15
Close	1875.00	2020/5/15

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	6461.00	2020/5/11
High	6683.00	2020/5/11
Low	6091.00	2020/5/15
Close	6446.00	2020/5/15

ニュースエクスプレス

南ア減産による今期のプラチナ、パラジウム供給不足をBank of America Merrill Lynchが予測

Bank of America Merrill Lynchのアナリストは、南アのコロナウイルスによるロックダウンを受け、今期はプラチナ及びパラジウムの供給不足が予測される、と報じた。主に車と宝飾に利用される白金族金属の需要もまた世界的な流行病のため急落したが、この需要は回復する、ただし鉱山の生産で在庫が確保できるようになるには数か月かかる、と同社アナリストは見込む。

「当社の基本的な予測では5月及び6月の生産量は本来の50%、フル稼働に達するのは12月になると考えます」

南アのプラチナ鉱業トップ各社では2020年度の生産指針を引き下げ、ロックダウンによる減産を報じた。Anglo American Platinum社では4半期で7%の減産、Impala Platinum社では6%の減産とした。

(ソース: <https://www.thisismoney.co.uk/wires/reuters/article-8300983/BAML-sees-platinum-palladium-deficit-year-South-Africa-production-losses-bite.html>)

Amplats社、精製金属生産の再稼働を繰り上げに

世界各国の白金族金属市場では、世界2位の販社が修復した精製ラインを予想より早く再稼働させることに伴い、原料金属受給の納期が刷新される。

Amplats社では2基のAnglo社製コンバーター装置 (ACP) がたて続けに損壊した後、3月の供給契約に対し不可抗力による免責を宣言した。Amplats社では1基のコンバーター及び使用中のコンバーターに問題が生じた際の代用機を稼働させた。

同社ではコンバーターの修理が完了し、精製が再開できる操業復帰日を5月25日に設定した。Chris Griffith氏に代わり新CEOに就任したNatascha Viljoen氏は、5月12日までにコンバーターはフル稼働できるものの、修理には1億5000万ランドかかること及びその経費は同社の予算に織り込み済みであることを述べた。

(ソース: <https://www.businesslive.co.za/bd/companies/mining/2020-05-05-amplats-to-restart-refined-metal-output-earlier-than-expected/>)

2050年地球温暖化防止目標達成の「実行可能な対策」として水素が浮上 (Barclays発)

Barclays Capitalは記事「水素、気候変動への巨大潮流に」の中で、水素が2050年地球温暖化防止目標を達成する対策として台頭しているものの、この課題の解決へと市場を育成するには大規模な投資、政策の援助、コストの大幅削減のいずれもが欠かせない、と報じた。

「依然として世界は、産業革命以前の気温水準より上昇を摂氏2度未満に留めるという方針に徹底的に取り組んでいるとは言い難く、政府、企業、投資家、消費者を挙げて早急な変革が迫られている」、「この背景の元、水素が実行可能な方策として浮上してきた」としている。

Barclaysでは、2050年までに年間二酸化炭素排出量は年50億トンあるいは現排出量の15%にまで減少し、水素は8倍に増加、時価総額1兆ドルに達すると試算している。

(ソース: <https://www.spglobal.com/platts/en/market-insights/latest-news/coal/050420-hydrogen-emerging-as-viable-solution-to-meet-2050-climate-targets-barclays>)

プラチナ価格の下落、中国の底値買いを誘発

Heraeus Precious Appraisalによると、上海黄金交易所 (SGE) における3月のプラチナ取引量は前年同月比5倍の34万3000オンス急騰する一方、プラチナの現地価格は26%下落した。

貴金属商、原料を利用する企業、銀行といった広範囲の企業で需要は高まった。中でも委託取引 (大部分は商業銀行及びその他の投資会社による) では前年比7.3倍に高騰する一方、宝飾業者や工業需要家を主とする自己勘定取引では1.83倍の増加に留まった。各業態によって需給は異なるはずだがどのセクターも等しく買っていることから、今回の購入量の急増は恐らく安値のための一過性のものと考えられる。実際に、ひとたび価格が回復すると、4月末までには購入量は正常に戻った。

近年の中国貴金属製造業では、必要なものを必要なときに買うという傾向が強いが、3月はその安値により、追加的な需要が喚起された。

(ソース: https://www.heraeus.com/en/hpm/market_reports/market_reports.html)

WPIC直近の活動

- ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル (WPIC) は本日、2020年第1四半期の『Platinum Quarterly』を発行しました。これには2020年予測の修正が含まれていますCOVID-19のパンデミックは価格、需要、供給を含め、プラチナ市場に大きな悪影響を及ぼしましたが、2020年第1四半期の結果は、全体に対する影響は恐れられていたほどではなく、2020年の見通しは予想よりも良いことを示しています。詳しくは https://platinuminvestment.com/files/186857/WPIC_PR_PQ_Q1_2020_20200518_JA.pdf

- WPICのオフィシャルFacebookとTwitterアカウントを開発されました。下記QRコードでフォローのほど、何卒よろしく願いいたします。



(@wpicjapan)

免責事項: 本資料は情報提供に過ぎず、WPICの投資提案を意図するものではなく、また、そのように解釈されるべきでもありません。